

第3回 瀬戸内市都市計画審議会 意見要旨

| | |
|------------|---|
| 開催日時 | 令和6年6月5日(水)15時00分～17時00分 |
| 開催場所 | 瀬戸内市役所2階大会議室 |
| 委員 意見要旨 | <p>(1) 都市計画の導入に向けた取組と今後の進め方について・・・資料2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見なし <p>(2) 瀬戸内市都市計画マスタープランの策定に係る市民意見聴取の取組結果の概要について・・・資料3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 邑久高等学校の生徒を対象に、放課後の余暇時間等は調査されたのか。 (事務局)⇒余暇時間の調査は行っていない。1年生を対象に放課後どんな過ごし方がしたいかは調査しており、岡山の方に向かっている傾向がある。市内では図書館も非常に活用されている。友達とゆっくり過ごす場所がないといった意見もあることから、滞在時間を増やせるような施策、方針について都市計画マスタープランの中で考えていく必要があると感じている。 ・ 今の高校生が邑久駅周辺に何時間くらい滞在されているのかが気になっていた。アンケート等する機会があれば、調査をお願いしたい。 ・ 牛窓地域は、都市計画を進めていくことで、本来の良さが失われないか心配である。都市計画の導入について、市民意見などを参考にしながら地域に合わせた形で考えていかないといけない。 (事務局)⇒大事にしているものが地域毎で違っており、計画の中でどういう形であれば理想とする牛窓の姿を残したり、良さを伸ばしたりできるか検討したい。 ・ 人口密度が低下すると、商業施設がなくなってしまうので、一定の範囲においては、都市計画で人口密度を確保する政策が必要である。都市計画によって商業施設を誘導するのは市場原理もあり、難しい部分ではあるが、間接的にできることはあるので、様々な意見を実現させるための方法を都市計画の中でしっかり考えないといけない。 |

| | |
|--------------------|---|
| <p>委員 意見要旨</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の話をする、どうしても施設が集積した都市エリア側から考えがちだが、自然環境側、農地側からもできる制度がある。そういうものを総合的にとらえながら進めていく必要がある。 ・ワークショップで幅広い年齢層の方から意見をもらったことは評価できる。しかし、参加者の中から意味があるのかという意見もあり、もう少し内容を工夫すべきであったと思う。 ・まちづくり課題図・意見集約図に記載されている赤い線(道路対策強化区間)の根拠を教えて欲しい。村田製作所周辺の工業地域から吉井川を渡って他市に出るような線があるが、何を根拠に記載しているのか。 (事務局)⇒意見が出たものをまとめているものである。 ・市内外を結ぶ道路は、出入りを含めて不便な方が市内に住んでいただけののではないかと思う。いくら企業誘致しても市外から通勤されるのであれば人口減少対策としては意味がない。市内で買い物、余暇を楽しんでもらうということを考えていく時に、市外に対して交通の便を良くするのはいかなるものかと思う。 ・都市計画で市の中心部をコンパクトシティにして賑やかになるのは良いが、過疎地にも生活があり、その方向性に対して心配している人がたくさんいた。過疎地のことも考慮して進めてほしい。 ・市内の過疎が進んでいる地域をどのようにしていくのかを考えながら、ランドデザインをしていく必要がある。 ・市外から通勤しやすくすると瀬戸内市に住む方が少なくなるのではないかと。通勤の便利が悪いから、近くの瀬戸内市に住もうかという方が100人のうち10人でも20人でも出てくれば、人口が増える。交通渋滞を緩和することも必要だが、瀬戸内市の人口減少対策としての戦略も必要ではないかと思う。 (事務局)⇒広域行政の枠組みで、相互に連携・補完し合うという考え方がある。自分の地域だけでできないこともあると思うので、両面から検討したい。 |
|--------------------|---|

| | |
|--------------------|--|
| <p>委員 意見要旨</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するためにどのようなことが必要なのか、質問形式のようなワークショップという面が強かったため、日頃からの課題が中心となり、地域がして欲しいことについての意見は出にくかったと感じている。 <p>(3) 都市計画マスタープラン(現況・課題)について・・・資料4</p> <p>(4) 瀬戸内市のまちづくりの構想について・・・資料5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点地区として、備前福岡景観形成重点区域、牛窓眺望景観形成重点区域が記載されているのは共感する。ただ、牛窓のしおまち唐琴通りが外れてしまっているのがどうなのかと思う。 (事務局)⇒現行の景観計画の重点地区は、2箇所である。今回の都市計画マスタープランでは、しおまち唐琴通りのところも地域別構想等で方向性を示していく。 ・牛窓の海沿いの地域が都市ゾーンになっているが、性格が違う気がする。都市的な発展を目指すところと、長船や牛窓のように昔からあって、外から来た方にとっても、住む方にとっても非常に魅力になっているところをいかに守りながら発展させるかの性格付けを明確にしておく必要がある。もう少し解像度があると良いのでは。 (事務局)⇒西側と牛窓等の東側で、暮らしやまちに対する見方が違うということをよく存じている。今後将来都市像を検討する中で特色あるゾーニングや拠点の名称を整理していきたい。 ・都市計画の話が出る前に、国土利用計画を策定している。このプロセスを経ているということが大切だと思う。国土利用計画が上位計画になるというのは一つの特徴でもあるので、国土利用計画と都市計画マスタープランの関係性がよりわかるようになればよいと思う。 ・都市計画マスタープランの公園の記載には、児童遊園地、ちびっこ広場なども含まれている。この書き方だと公園が164箇所あるように思えるが、実態はそうではないので、都市公園0と書いておいた方が実態に即しているのでは。 |
|--------------------|--|

| | |
|--------------------|---|
| <p>委員 意見要旨</p> | <ul style="list-style-type: none"> <p>・小さい公園が多いと思うので、規模ごとに分けておくと明確になると思う。 (事務局)⇒台帳を確認し、次回に改めてお示しする。</p> <p>・ワークショップ等でも公園が欲しいという声が出ている。自然環境を重視した公園なのか、遊具を置いた公園なのか、すぐ近くで行けるような公園なのか、いろいろとパターンがあると思う。この辺りを整理することが、まちおこし、地域づくりの一つのポイントとなるかと思う。</p> <p>・コンパクトシティの話をする、現状は、1つの自治体に1箇所だけ拠点を作って、そこに集約するという誤解を招いている。そうではなく、地域の拠点、小さな拠点をきちんと作って、それらをネットワークで結ぶということであるため、ネットワークの解像度が粗いのは適切ではない。</p> <p>・立地適正化計画の話と関連すると思うが、瀬戸内市においては、道路や交通のネットワークの部分が大切になると思うので、しっかりと議論して、具体性のあるものとして計画に盛り込んだ方が良くと思う。</p> <p>・市街地エリアと用途地域はイコールではないという認識で良いのか。 (事務局)⇒構想図は抽象度が高いものであり、今後、詳細に人口等を見ながら境界を考えていくことになる。現時点では一致していないと認識していただければと思う。</p> <p>・以前、線引き(区域区分)するか否かで審議の内容が変わってくるのではないかと指摘したが、どのようにとらえたらよいのか。 (事務局)⇒都市計画マスタープランの中で、将来都市像を作成し、ゾーニングの中で、どのエリアに居住を集めるのかという方針を決めていくことが先になるかと思う。方針が見えてきた段階で、具体的な用途地域の範囲等について、どのような範囲が望ましいか、今の建物の状況と突き合わせながら検討していく流れになる。線引き(区域区分)に関しては、事務局では想定していない。</p> <p>・前回も指摘したが、想定を超える大雨豪災害もあるので、河川調査等、専門家が入って調査した上で用途地域を選定してほしい。調査や検証は実施するのか。 (事務局)⇒前回ご意見を頂いていた市街化を促進していく上での浸水対策は、まちづくり構想に記載している。具体的な調査がどれくらいできるかは今後検討する。</p> |
|--------------------|---|

| | |
|--------------------|--|
| <p>委員 意見要旨</p> | <ul style="list-style-type: none">・線引き(区域区分)について、結果的に線引きを導入しないことになるとしても、必要性があるかどうかはきちんと検討すべきだと思う。また、線引きについては県が決めることだと思うので、そこに踏み込んで、市が先に言うのはどうかと思う。 ・邑久西地域、長船地域の市街地周辺にあるグリーンベルトの扱いが軽い気がする。コンパクトな都市部に対して、周りは豊かな自然に守られていて、それがとても魅力的に使えるようなあり方を示し、重点的に大切に扱うことが見える方がより邑久西や長船らしさが出るかと思う。 <p>(5)都市計画マスタープラン(将来都市像・地域別構想)の検討について・・・資料6</p> <ul style="list-style-type: none">・意見なし <p style="text-align: right;">以上</p> |
|--------------------|--|